

令和6年度 前期 学校評価について

令和6年10月
京都市立七条小学校
校長 新田 淳

7月にすぐるにて配信いたしました「学校アンケート」にご協力いただきありがとうございました。今回も、回答形式を「Forms」に限定し、回答をお願いしていましたが、昨年度の回答率とほぼ同じく約70%（対児童数）の方々から回答をいただきました。

今年度も質問項目に京都市の学校教育の重点や本校の学校経営方針に基づいた内容のものを取り入れ、また、児童と保護者のアンケート項目を連動させることでそれぞれの視点で同じ内容を振り返ることができるようにしました。

A・・・できている・よい・そう思う・わかる 等

B・・・大体できている・まあよい 等

C・・・あまりできていない・どちらかといえばそう思わない 等

D・・・できていない・思わない 等

GIGA スクール構想における ICT 機器の有効活用

「ICT を活用して、学習をよりよいものにしていますか。」という設問では、A と回答した児童は約62%と、昨年度よりも約10%高い結果となりました。今年度はより一層、学校生活において ICT 機器とのつながりは児童にとって深く感じられているようで、教師—児童だけでなく、児童間同士でも資料や写真などの共有ができたり、同時に共同で作業（活動）ができたりするなど、今まで以上に ICT 機器を使った授業が展開されていることが伺えます。保護者の肯定的な回答率も昨年度とほぼ同じの約75%程度と、概ね高い回答率となりました。今後も、学校と家庭が ICT の分野で連携を深め、安心して快適な ICT 環境を整えていけるよう働きかけていきたいと思っています。



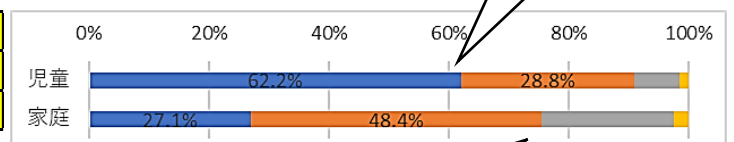
GIGA 端末を活用した授業の様子

5.

【児】ICT（インターネットやパソコン、タブレットなど）を使って、学習をよりよいものにしていますか。

【家】子どもは、ICT（インターネット環境やパソコン、タブレット端末等）を活用して、学習意欲や学習効率・学習効果を高めていますか。

	A	B	C	D
児童	62.2%	28.8%	7.6%	1.4%
家庭	27.1%	48.4%	22.0%	2.5%



AB : 75.5%

個性や多様性を認め合うことのできる集団づくり

「人は、考え方や見た目などの違いに対して、それを認め合うことが大切だと思いますか。」という設問では、A と回答した児童の割合は約80%と、昨年度とはほぼ変わらなかったのですが、その実現度をみる設問「考え方や見た目が自分とちがっていたとしても、その人のことをみとめなかったり悪く言ったりいじわるな態度をとったりしていませんか。」で、A と回答した児童は昨年度よりも約20%も上昇していました。（83.8%）

今年度、本校の人権教育目標を、「お互いの違いを認め合い、自分も友だちも大切にできる子を育てる」として、その一環の取り組みとして毎月「こころひとつの日」を実施しています。9月は人権月間として、「男女

平等」や「総合育成支援教育」そして「外国人教育」など、学年ごとにテーマを決めて参観授業として保護者の方にも観てもらいました。また、今年度は親子参加で行った人権講演会にも70名程度の方に参加をいただき、「LGBTQ」について深く知ってもらえる場となりました。



9月親子人権講演会には、50名を超える方に参加いただきました。

8.

【児】人は、考え方、見た目や行動に「ちがいが」あることが当たり前であり、「ちがいが」をみとめ合うことが大切であると思いますか。

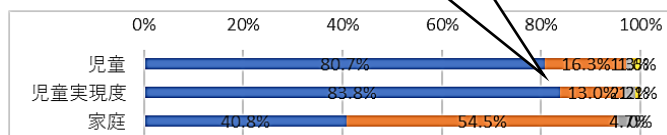
【実現度】ほかの人の考え方や見た目、行動が、自分の考え方などちがっていたとしても、その人のことをみとめなかったり

悪く言ったりいじわるなことをとったりしていませんか。

【家】子どもは、人には当然「違い」があり、個性や多様性を認め合うことが大切であると思っていますか。

(得意不得意、性格、国籍、障がいの有無、性的マイノリティ等)

	A	B	C	D
児童	80.7%	16.3%	1.3%	1.6%
児童実現度	83.8%	13.0%	2.2%	1.1%
家庭	40.8%	54.5%	4.7%	0%



相手のことを大切に、自分のことも大切にできる心

「学校や社会では、相手のことを考えたり協力したりすることが大切だと思いますか。」という設問では、A「そう思う」と回答した児童は約89%で、昨年度よりも6%ほど上昇していました。また、「じっさいに、普段から、相手のことを考え、協力したり助け合ったりしていますか。」という設問では、肯定的な回答率(A・B)が全体の95%を超えるなど、これも昨年度よりも高い結果となりました。

「自分には、とくいなことやよいところがありますか。」という設問では、7割近い児童が A「ある」と回答し、昨年度よりも15%近く上昇していました。

本校では、「めざす学校の姿」として、学び合う(学力)・高まり合う(集団)・思い合う(人権)・つながり合う(組織)の4つを掲げています。日々の具体的な取組として、自律・感謝を重点目標とする道徳教育の充実や、「認める指導」を念頭に置いた生徒指導、また、探究的な学びにおける児童の主体活動を通して、自分への自信につながる児童が増えたのではないかと思います。



七条小の人権教育目標を素地とした学級目標づくり

児童が主体的に活動できる場の設定

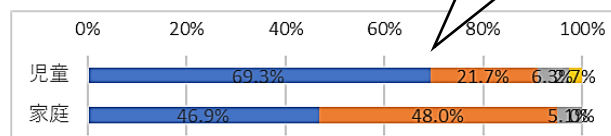


12.

【児】自分には、とくいなことやよいところがありますか。

【家】子どもは、自分には得意なことや良いところがあると思っていますか。

	A	B	C	D
児童	69.3%	21.7%	6.3%	2.7%
家庭	46.9%	48.0%	5.1%	0%

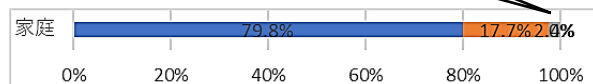


その他 ～ミニアンケートより～

教育アンケートとは別に、ミニアンケートとして学校の取組についていくつかお尋ねしました。学年間での教科担当制であったり、6月に行った引渡訓練のことであったり、約95～97%の方から肯定的な回答をしていただきました。ただ、交換授業については「慣れない先生で相談等しにくいときがある」や、「懇談で通知票についてのお話が、担任の先生以外の授業だと『伝聞』になるのが残念」、引渡訓練では、靴の脱着の場所のわかりにくさや、箇所によって渋滞が起きていたことなどのご意見やご指摘を受けました。職員間で議論し、また来年度はさらに良い訓練にできるよう、参考とさせていただきたいと思います。

学年間の交換授業について

よい	だいたいよい	あまりよくない	よくない
79.8%	17.7%	2.4%	0%



学引渡訓練について

スムーズ	まあスムーズ	あまり	スムーズでない
36.8%	57.9%	4.4%	0.9%

